

北里大学北里研究所病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	潰瘍性大腸炎患者における白血球数を指標とした免疫調節薬投与と治療効果の検討 (No. 18085)
当院の研究責任者 (所属)	小林 拓 (北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	京都大学医学部附属病院 (山崎 大)、奈良県立医科大学附属病院 (守屋圭)、日本医科大学千葉北総病院 (秋元 直彦)、大阪急性期・総合医療センター (川井 翔一郎)、旭川医科大学 (藤谷 幹浩)、北海道大学 (桂田 武彦)、名古屋大学 (中村 正直)、鮫島病院 (西俣 伸亮)、慶應義塾大学 (長沼 誠)、東京医科歯科大学 (竹中 健人)、獨協医科大学 (富永 圭一)、豊橋市民病院 (山田 雅弘)、九州大学 (梅野 淳嗣)、名古屋市立大学 (尾関 啓司)、国立病院機構金沢医療センター (加賀谷 尚史)、順天堂大学 (工藤 孝広)、東海大学八王子病院 (市川 仁志)、北里大学 (横山 薫)、昭和大学藤が丘病院 (黒木 優一郎)、昭和大学病院 (田代 知映)、川崎医科大学 (塩谷 昭子)、東邦大学医療センター佐倉病院 (松岡 克善)、富山大学 (南條 宗八)、東京山手メディカルセンター (岡野 荘)、金沢大学 (北村 和哉)、愛知医科大学 (山口 純治)、京都府立医科大学 (高木 智久)、横浜市立大学 (佐々木 智彦)、済生会宇都宮病院 (田原 利行)、神戸大学 (星 奈美子)、健生会土庫病院 (横尾 貴史)、大阪大学 (新崎 信一郎)、京都大学 (山本 修司)、杏林大学 (尾崎 良)
本研究の目的	免疫調節薬が投与されている寛解期潰瘍性大腸炎患者において、白血球数低値と寛解維持率との関係を検証します。また、白血球数低値のもとでの投与継続が入院を必要とする感染症をはじめとした重篤な副作用の発現頻度に影響するかどうかについても検討いたします。
調査データ 該当期間	2015年10月1日から2019年6月30日までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さま</p> <p>2016年4月1日から2016年6月30日に潰瘍性大腸炎の診断で当院通院中に、免疫調節薬(アザニン[®]、イムラン[®]、ロイケリン[®])の処方を受けた患者</p> <p>●利用する情報</p> <p>上記期間における電子カルテに記載のある診療記録、検査データなど</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	上記施設で収集され匿名化された情報は、各施設からのみアクセス可能で外部の者がアクセス不可能なクラウドシステムもしくは北里研究所病院炎症疾患先進治療センター内パソコンでデータベース化されます。 (システム構築：(株) エレクトリック・マテリアル)

<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>日本炎症性腸疾患学会から、研究に関わる資金援助を受けます。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：03-3444-6161（代表） 担当者：小林 拓（炎症性腸疾患先進治療センター）</p>
<p>備考</p>	